



## 国分寺市総合ビジョン初年度の 平成29年度一般会計・特別会計予算を可決 甲斐よしと議員に対する辞職勧告決議を可決

平成29年第1回定例会は、2月17日から3月21日までの33日間の会期で開催し、市長提出議案26件を議決しました。(結果は8頁に掲載)

2月19日には日曜議会を開催し、多くの市民の方が傍聴される中、市長の施政方針に対する各会派による代表質問を行いました。(2～5頁に掲載)



万葉花まつりの様子(西元町1-13付近)  
平成27年度(第37回)こくぶんじ写真コンクールJ-A東京むさし賞受賞作品

### 平成29年度一般会計予算を賛成多数で可決

平成29年度当初予算案(一般会計と7つの特別会計)は、2月17日の本会議において予算特別委員会(及川妙子委員長、なおの克副委員長)を設置して同委員会に付託しました。委員会では3月6日から15日までの8日間(43時間)にわたり審査を行いました。

#### 予算編成での特色・予算の内容は

国分寺市総合ビジョンの初年度となる平成29年度予算は、一般会計が495億8,810万6千円(前年度比21.4%増)、7特別会計を合わせた総額は979億8,079万2千円(前年度比38.4%増)で、一般会計及び全会計総額とも過去最大規模となりました。主な増要因は、歳入では国分寺駅北口再開発ビル保留床処分に伴う特別会計からの繰入金増、歳出では待機児童解消に伴う保育所入所児童委託料や生活保護費等の補助費増、再開発ビル内の公益施設整備委託の増等が挙げられます。基金への積立では財政調整基金に約42億8千万円、庁舎建設資金積立基金に約21億1千万円など全体で約73億9千万円を積み増し、残高が約114億円となりました。財政の状況ではその弾力性を示す経常収支比率が90.9%と前年より2.8ポイント改善し、健全化判断比率も実質公債費比率がマイナス0.8%と初のマイナス数値になるなど数値では改善が見られるものの補助費の増加が止まらないなど依然とし

て厳しい状況との説明がありました。

#### 予算編成の基本的考え方を質す

予算編成の基本的考え方については、「扶助費の伸び等による厳しい財政状況を踏まえ、国の経済動向等を見つつ財政運営を」等、**財政フレーム**では「29年度からの扶助費の伸びを毎年1億円と見込んでいるが、28年度から29年度だけでも約9億円増えている。実態とずれはないか」「市長は民生費の予算額が11億円増え、そのうち扶助費が約9億円増えると言っているがその内訳を理解しているのか」「財政フレーム上、不足額が見込まれる年もあるがどう解消するのか」等、**基金**では「(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金への積み増しの検討を」「庁舎の建て替え費用としての基金40億円の考えは」「今後の教室の増築には学校施設整備基金を使うべき。今後の計画と基金の積み増しをきちんとすべきでは」「現在11ある基金全体のあり方を見直す時期にあるのでは」等、**国分寺駅北口再開発**では「現在工事は順調に進み、確実に年度内に不動産売り払い収入が入るのか」等、**国分寺市総合ビジョン関連**では「ビジョン実行計画の公共施設整備基金が毎年10億円だが、不測の事態にも対応できるよう積み増しが必要ではないか」「平成30年度以降に予定している総合ビジョンに係るアンケートは、市民参加のすそ野を広げることを目的の一つとして実施すべき」「市長と小池都知事との意見交換において、今後10年間人口が増加するという『人口ビジョ

ン』と違う見解が示されたがなぜか。人口ビジョンを見直すべき」等、**税関連**では「人口予測では納税義務者数が2%伸びるのに、なぜ個人市民税の伸びを0.1%と見込んでいるのか。GDPの実質成長率から堅く見込んでも1%前後ではないか」「ふるさと納税制度によって税収が1億円以上減となっている。ふるさと納税による税収減を食い止めるため、返礼品に係る還元率を見直すべき」等、**公共施設マネジメント**では「(仮称)リサイクルセンター建設事業を公共施設マネジメントとしての8億円に含めないのは、公共施設等総合管理計画と矛盾するのでは」「再配置計画、個別施設計画が策定されれば年8億円を超える可能性もあるのでは」等といった質疑がありました。

#### 歳入にかかる主な質疑

**歳入**では、**市税**に関し「隣接市と比較して都市計画税が高い。国分寺駅北口再開発完了にあわせて引き下げてはどうか」「アニメ制作会社などの企業を市内に誘致し、まちの魅力と税収向上を図ってはどうか」「市税徴収に係る経費を抑える方法も検討を」等の質疑がなされ、**その他の歳入**に関する質疑としては「市民課で行政・広告情報を映す電子掲示板設置に関し、行政としての公平・公正性を担保した適正な運用と、情報提供の拡大に向けた検討を」「市民の利便性向上の観点から公園等に自動販売機を設置してはどうか」「住民票等のコンビニ交付の利用推進を」等といった質疑がありました。

#### 歳出にかかる主な質疑

**歳出**では、**人件費**に関し「嘱託職員や臨時職員の処遇改善に係る先進的な取り組みを」「専門職嘱託職員の欠員状態解消に向けて処遇改善

次ページに続く

### シリーズ

## 国分寺市議会② 代表者会議は

国分寺市議会では、議長、委員長をはじめとする議会内の役職、各議員が所属する委員会等の議会人事や議会運営に係る事務費等を協議する場として「代表者会議」を設けています。

「代表者会議」は、正副議長、会派代表者及び無会派から選出された議員で構成されており、各定例会の前や選挙後の臨時会及び常任委員会委員の任期満了に合わせて開会されています。

地方公共団体の議会の多くには、会派

間調整の場として同様の会議が設置されていますが、議会人事等を協議する場であるため、公開されていないことが多いです(下表参照)。そのような中、国分寺市議会では、他の議会に先がけて会議を公開で開催しており、平成20年9月からは会議録も市ホームページで公開しています。

今後も市民にわかりやすい市議会を目指してまいります。

会議の公開状況(平成29年3月3日現在)

自治体	公開割合
多摩26市・東京23区議会	6市3区(18%)

※会議体の名称、位置付け等は各々異なります。

## 甲斐よしと議員に対する 辞職勧告決議を可決

2月17日開催の本会議において、陳情第29-1号 酒気帯び運転議員の辞職勧告決議を求める陳情が採択されました。

これを受け、同日開催の本会議に辞職勧告決議が提出され、全員賛成で可決しました(決議文は8頁に掲載)。